

デジタルサイネージコンソーシアム  
コンテンツWG  
“災害時に必要なコンテンツ”検討まとめ  
2011.3-5

# 前段

- 3／11の震災をうけての、各デジタルサイネージの対応事例を収集する
- 事例から、今回の災害で役に立ったコンテンツをまとめ、「災害時に必要なコンテンツ」として提言する
- コンテンツ以外の面での提言もあればまとめる
- 上記により、デジタルサイネージ産業の発展に寄与する

※すべての災害に網羅的に対応するものではなく、あくまで3／11の事例で得られた教訓を抽象化する取り組みと捉える

※被災地への取材等は時期を鑑み行わないこととした

※計5回のワーキンググループを開催した

# 災害時に必要なデジタルサイネージコンテンツ ～時間×地域のマトリクス～

- 3月30日のプロダクション部会にて、「災害時に必要なデジタルサイネージのコンテンツ」について議論。
- 「AC的な仕組みでの公共性のある広告」「災害発生時のNHK放送への切り替え」「被災地へのサイネージ持ち込み」などいくつかの意見があがった。
- 時間軸、被災レベル軸の2つの軸（＋サイネージの用途、目的）で必要とされるコンテンツを分類すべしという意見があがった。

マトリクス例：

	災害時	復興初期	復興後期
被災地			
準被災地			
安全地域			

- 復興初期＝被災者の生命や安全を確保するまでのフェーズ、復興後期＝通常の生活に戻るまでのフェーズ というイメージ。
- 被災地＝通常の生活が営めなくなった地域、準被災地＝ほぼ通常の生活を営んでいるが災害の影響を受けた地域 というイメージ。

# 災害時に必要なデジタルサイネージコンテンツ ～ライブ情報／定型的情報～

- 4月7日のプロダクション部会にて。災害時の情報は「ライブ情報」(フロー情報?)と「定型的情報」(ストック情報?)に分けられるという議論。
- ライブ情報はNHKなどが発信するリアルタイムの災害情報、安否情報、避難先情報など。
- ライブ情報について、コンテンツを作るという考え方よりは、「ソース(情報源)の獲得のしかた」、「運用のしかた(情報の更新・配信等のオペレーション)」の観点で整理する。
- 定型的情報は、災害に対する備え、募金・支援等の災害に関連する情報や、災害とは直接関係ない社会全般の啓発・啓蒙的情報などがある。
- 定型的情報について、コンテンツ(乃至はフォーマット)を制作し、関係各社で共有するなどのスキームを構築する観点での議論が必要。

	ライブ情報 (フロー)	定型的情報 (ストック)
情報の内容	リアルタイムの災害情報、安否情報、避難先情報など	災害に対する備え、募金・支援等の災害に関連する情報や、社会全般の啓発・啓蒙的情報など
ソース	NHK、各自治体、通信社、省庁(政府)など	(ACを利用? DSCで共同制作?)
備考	ソースの獲得、運用のしかた等についての議論が必要	共同で制作し共用するしくみの検討が必要
事例		

# ～事例～

	ライブ情報(フロー)
<b>利用事例</b> <div> <p>その他、最近の事例としてJR東日本の柱巻きサイネージ、東京メトロの改札脇サイネージにてそれぞれ電力消費量データを表示中(4/27記載)</p> </div>	<p>■NHKの放映に切り替え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸の内ビジョン (三菱地所さん、イエローさん)</li> <li>・新宿駅西口 総合案内情報提供システム (パナソニック システムソリューションズ ジャパンさん、NTTデータ・アールさん) 震災当日から1週間程度NHKを放送。</li> <li>・六本木ミッドタウン 震災当日、NHKに切り替え。翌日NHKが一部通常放送に戻ったのでサイネージ消灯</li> </ul> <p>■その他の事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NTT東日本東京 オフィスサイネージ →テロップによる停電情報、交通情報など(配信はNTTの企画部? 災害対策本部? が実施)</li> <li>・東京メディア →共同通信社さん提供の震災速報を放映</li> <li>・JACLA →テロップにて災害情報を発信(運営スタッフさんが入力)</li> <li>・森ビル →テロップにて六本木駅、乃木坂駅、バスの運行情報を発信(ネットで情報収集)</li> </ul>
<b>提供事例</b>	<p>■DSC会員企業によるサービス提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士フイルムイメージテックさん →Locamodaとtwitterを利用したもの 首相官邸災害情報、地震速報、NHKニュース、Google Person Finderなどのtwitterをflash表示</li> <li>・共同通信さん →共同通信ニュース速報を公開(RSS)</li> <li>・朝日新聞社さん →アサヒコム震災情報を公開(RSS)</li> <li>・時事通信さん →震災関連記事ヘッドラインを公開(RSS)</li> <li>・ニューフォリアさん →(文部科学省) 放射能水準調査結果をサイネージ用に作成・配信 →(東京電力) 電力使用量のデータをサイネージ用に作成・配信 →共同通信さんのニュースをFTP配信できるように変換</li> </ul>

# ～事例～

	定型的情報(ストック)
利用事例	<p>■利用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神社ビジョン →募金の呼びかけ、安否情報等を配信</li> <li>・BRID(東和メックスさん) →メディアコンテンツファクトリーさんのコンテンツを採用。</li> <li>・シブヤテレビジョン →メディアコンテンツファクトリーさんのコンテンツを採用。</li> <li>・スーパーマーケット(レッドキャベツ、他) →日本情報流通のコンテンツを採用。</li> <li>・東京メトロ改札 節電のよびかけコンテンツ、運行情報(間引き運転)</li> </ul>
提供事例	<p>■DSC会員企業によるサービス提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアコンテンツファクトリーさん <ul style="list-style-type: none"> <li>→安否確認サイト、地震ダイヤル情報(google perason finderの紹介、NHK安否情報放送、災害用伝言ダイヤル使い方、グーグル避難所名簿共有サービス)</li> <li>→献血についてのお願い</li> <li>→NHK災害情報のサイトアドレス</li> <li>→警察情報関連(チェーンメールにご注意、宮城県相談電話、災害時の避難所、募金の詐欺注意、SOS時の電話番号、警察総合相談電話番号のアドレス、岩手・宮城・福島の行方不明者ダイヤル)</li> <li>→各携帯電話会社災害掲示板の使い方</li> <li>→停電に関する注意点／節電のお願い</li> </ul> </li> <li>・日本情報流通 <ul style="list-style-type: none"> <li>→募金呼びかけコンテンツ、節電呼びかけコンテンツ</li> <li>→お悔やみ／お見舞いコンテンツフォーマット</li> </ul> </li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節電ポスター <a href="http://setsuden.tumblr.com/">http://setsuden.tumblr.com/</a></li> <li>・STOP PANIC BUYING <a href="http://www.facebook.com/STOPPANICBUYING">http://www.facebook.com/STOPPANICBUYING</a></li> <li>・安否情報非公式botまとめ <a href="http://gpf-bot.jizmo.co.jp/">http://gpf-bot.jizmo.co.jp/</a></li> </ul>

# ～マトリクスへのマッピング～

災害発生から終了まで  
東日本大震災においては1週間程度  
(地震、津波、余震等が続いた期間)とみています

復興初期の終了の目安は  
被災者の生命の危険がなくなった段階としています  
例)仮設住宅が立ち始めている、Google person finder 終了、など  
東日本大震災においては2ヶ月程度

復興後期のフェーズは  
未体験(これから起きる)  
なので想定です

	災害前	災害時	復興初期	復興後期
<p>生活や生命に支障を来す被害を被る地域と定義しています</p> <p>通常の生活を営んでいるが災害の影響を被る地域と定義しています</p> <p>災害と直接の関係のない地域と定義しています</p>	被災地	<div>災害予報・予測情報</div> <div>避難場所情報</div> <div>避難誘導・指示</div> <div>災害情報(ローカル)</div> <div>災害情報(全国)</div>	<div>安否情報</div> <div>被災地におけるニーズ未取材(現時点では自重)</div> <div>生活密着情報?</div>	<div>地域内コミュニティ・回覧板的コンテンツ</div> <div>被災地の情報発信、被災地と安全地域を結びつける情報交換(被災地産業の広告宣伝含む)</div> <div>災害対策サイネージであるという自己情報発信</div>
	準被災地	<div>帰宅情報</div> <div>運行情報(交通機関)</div> <div>災害情報(全国)</div> <div>災害情報(ローカル)</div>	<div>運行情報(交通機関)</div> <div>計画停電・放射線情報</div> <div>パニック・風評対策</div> <div>準被災地・安全地域の区分が要らないコンテンツ</div> <div>支援のよびかけ</div> <div>公共広告</div> <div>お悔やみ・お見舞い・励まし広告</div> <div>安否情報</div>	
	安全地域	<div>災害情報(全国)</div>		

# ～マッピング 補足～

## 災害情報(ローカル)

- ・災害情報の担い手として、自治体、管轄警察・消防などの意見。ローカルFM局の対応が手本になる。
- ・被災地に近づくほど、全国区の災害情報よりローカル情報の重要度が高くなる。
- ・準被災地においては、「安全情報」(安全であるという情報)としての発信の意義もある。

## 避難場所情報

## 避難誘導・指示

- ・被災地においては、災害情報よりも避難指示・避難情報のほうが生命の安全に直結する。
- ・デジタルサイネージ設置ロケーションと連動した情報発信が望ましい。

## 災害情報(全国)

- ・災害情報の担い手として、NHKが至適であるという意見・事例多数。放送携帯(映像/文字のいずれか?)はロケーションの判断に依存。屋外広告の条例なども踏まえる。

## 安否情報

- ・安否情報は復興初期において、エリアを問わず(日本全体において)必要になる。

## 被災地におけるニーズ

- ・今回のWGにおいては、復興初期が終わるまで取材ヒヤリング等は自重した。今後の活動課題としたい。

## 生活密着情報?

- ・被災地の復興初期において、自治体が立ち直ってくる時期。臨時手続き、衣食住関連、支援の受け取り、医療情報などの「生活密着情報」が必要とされるのではないかという意見。

## 公共広告

## お悔やみ・お見舞い・励まし広告

- ・東日本大震災においては、公共広告を放映する以前に節電/消灯という出来事があったが、必要となるケースは多々あるのではないかという意見。
- ・DSCとしての作品を擁し会員間で共有することで、コストの削減ひいてはDSC加入促進にもつながるという意見。

## 地域内コミュニティ・回覧板的コンテンツ

- ・被災地域内での回覧板的な情報交換ツールとしてのデジタルサイネージ活用が期待される。

## 被災地の情報発信、被災地と安全地域を結びつける情報交換(被災地産業の広告宣伝含む)

- ・社会的インフラとして、被災地情報を継続的に発信することは、(デジタルサイネージに限らず)必要な役割であるという意見。

## 災害対策サイネージであるという自己情報発信

- ・「災害対策ベンダー(飲料自動販売機)」のように、災害発生時にどのような情報を提供するデジタルサイネージであるのか、という情報自体を継続的に発信するべき、という意見。

※本マッピングはすべての災害に汎用的なものではなく、東日本大震災での出来事をベースに作成したものです。

※本マップの作成にあたり、日経BPに掲載の「富士通総研長倉氏作成の資料も参考にしました。」



# ～災害時に必要なコンテンツの 提言～

## ① デジタルサイネージのローカルな特性を活かしたローカル情報は必要不可欠

→自治体、警察消防、地元メディア情報などと連携した「放映場所と密着した」災害情報、避難情報などのコンテンツは災害時に必要不可欠

## ② (都市部では) 鉄道バス運行情報へのニーズあり

→テロップ打ちで対応した各社、運行情報を発信

→今後の中小規模の災害時へのニーズ頻度が高いと想定される

## ③ 災害(大災害)直後の情報源としてNHKは有用

→DSCとしてNHKと包括的な協定を締結すべき

→NHKの情報を(技術的に)どうやって配信するか、システム面での検討も必要

→テレビ放送を流す事で滞留が生まれる。

滞留性の低いサイネージの場合、映像以外(テキスト+静止画等)での情報発信も採用に値する

## ④ 災害時放映用の(公共)広告を事前に用意すべき

→今回は電源が消されたが、稼働していた場合の対応として必要となった「はず」ではないか

→災害の規模や重大性は地域によって異なる。各面個別に通常広告/災害時広告を使い分けるケースも想定要

→広告出稿時点で平時・有事の対応を広告主と共有しておくことで災害時の機会損失の回避にもつながる

→DSCとして枠組みを作り、DSC会員が利用可能とすることでDSCへの加入動機にもなりえる

## ⑤ コンテンツとオペレーションはワンセット

→必要なコンテンツを整理すると同時に、

「何を事前に用意しておくのか」「どういう条件で切り替えるのか」

「誰が切り替えを行うのか」「どういう条件で平時運用に戻すのか」

「継続的・自動的にコンテンツを更新する仕組みをどう構築するか」

といった、オペレーションを定義しておくことが非常に重要

# ～今後の検討課題～

## ・外国人向けの災害情報発信

災害発生時、日本人もさることながら、外国人が災害情報/避難情報を得られずに非常に苦労したという意見があった。

外国人向けにどのような情報が必要か、それをどういうロケーションで、どういう編成でサイネージ上で展開すべきか、別途検討が必要。

## ・（復興初期）被災地でのデジタルサイネージの役割、有用なコンテンツについて

現状は安否情報、生活密着情報が必要ではないかという想定にとどまっている。

被災地の状況が安定した段階で、さらなる取材と検討が必要。

## ・画面レイアウトや表示フォーマット（静止画・動画等）のガイドライン

映像とテロップの併用や、図表のメリット・文字のメリットなど、表現技法・表現手法の観点からの検討が必要との意見があった。

基本的には平時のコンテンツと同じという考えもできるが、別途検討が必要。

## ・メディアとしてのルール、ガイドライン

今回のWGで、デジタルサイネージ以外のメディア（テレビ、新聞、ラジオ等）を調査した結果

各メディアは災害時の対応にルールがあり、且つ報道メディアとしての責任感があると感じられた。

既存のメディアから学ぶ姿勢を餅、さらなる調査が必要と考えた。

# ～コンテンツ プラスアルファの 提言～

## ・システム & ハード面での備え、対応

- サイネージ自体が災害に強くなくてはいけない(場所による)
- NHK放送や緊急速報を受信できる機能やハード
- 自動化された切り替えオペレーションを実現できるシステム
- エコ・節電の観点 ex.発電量を見せるサイネージとかもあり

## ・災害対応インフラとしてのサイネージ導入の促進(そもそもサイネージがなければ役に立てない)

- 緊急避難場所や自治体施設など、災害時の重要地点にサイネージを設置
- タブレット端末を配布(事前／事後)する仕組み

※末尾の参考情報(Life tweet project, 福島県浪江町へのフォトビジョン導入の事例)を参照のこと

## ・ビジネス、金銭面でのバックアップするしくみ

「有事の際の備え」を誰のお金で賄うか？

DSCという団体にできること、省庁や自治体にできること、媒体主が負うべき負担の整理

## ・ロケーション個別の「災害」の定義

災害は全国的大規模災害だけではない。

きわめてローカルな情報も、近ければ緊急災害。放映ロケーションごとの災害のクラス分けと対応が有意義

## ・オペレーションマニュアル(乃至はガイドライン)の整備

災害時用コンテンツ編成への切り替え基準およびワークフロー、同じく通常復旧への切り替え基準及びワークフロー。

主に媒体主または運営者が検討・整備しておく必要あり

# 事例・参考資料

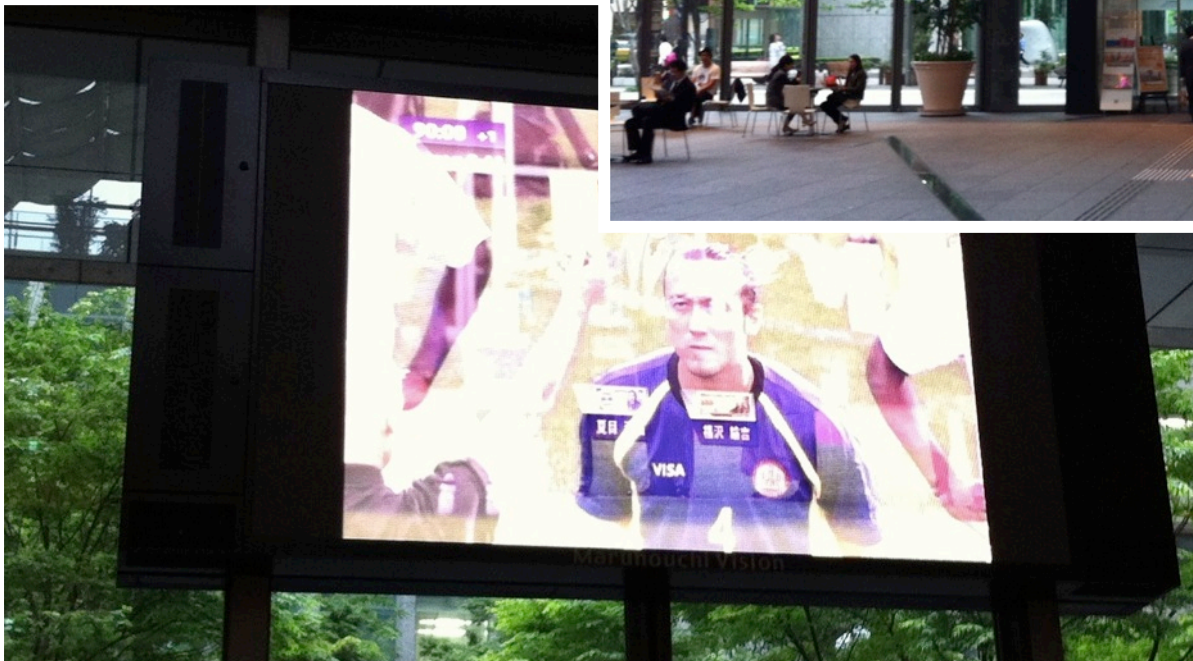
# 事例：新宿駅西口デジタルサイネージ



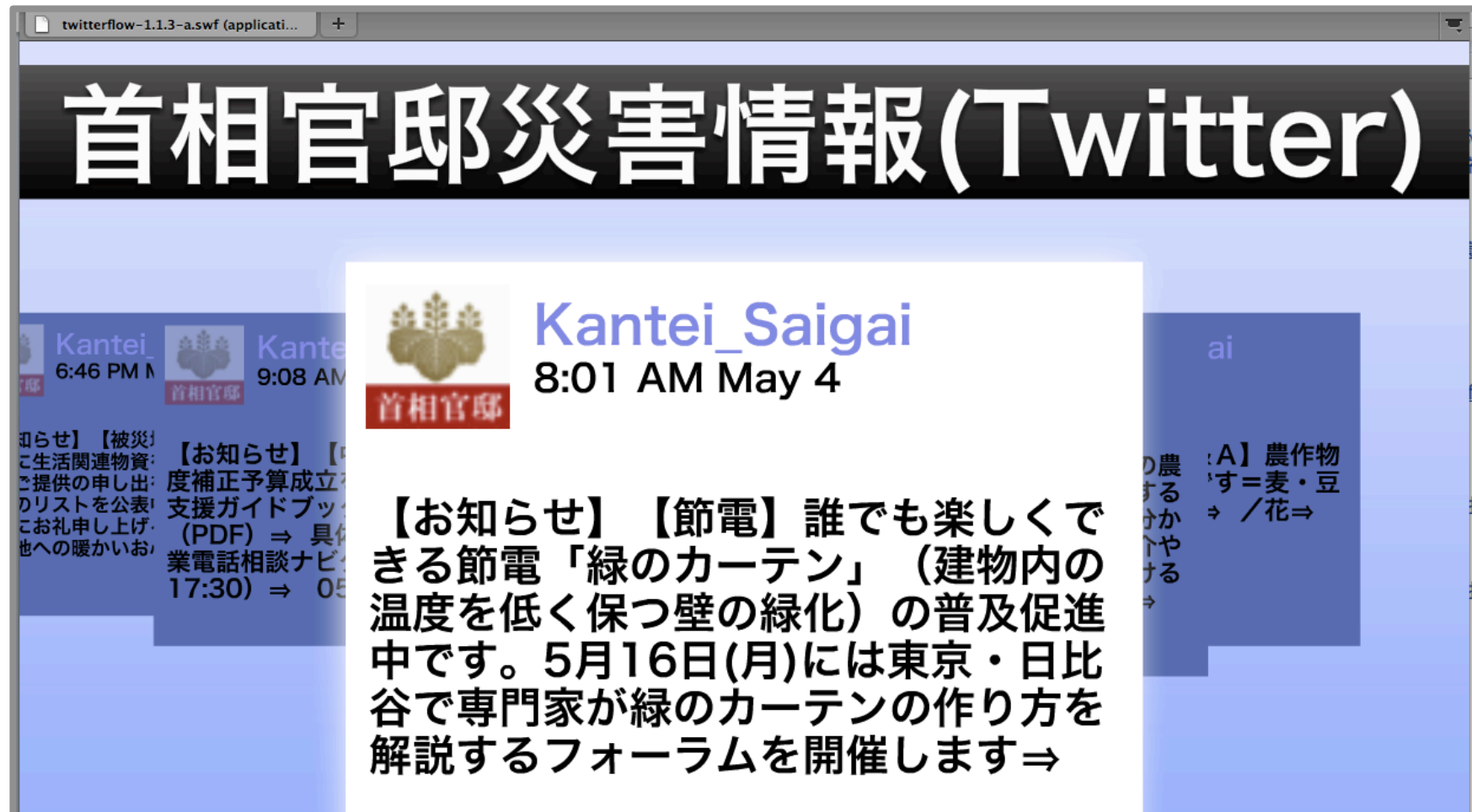


# 事例：丸の内ビジョン(震災発生時にNHKを放映)

※写真は2011年5月のもの@丸の内ビル



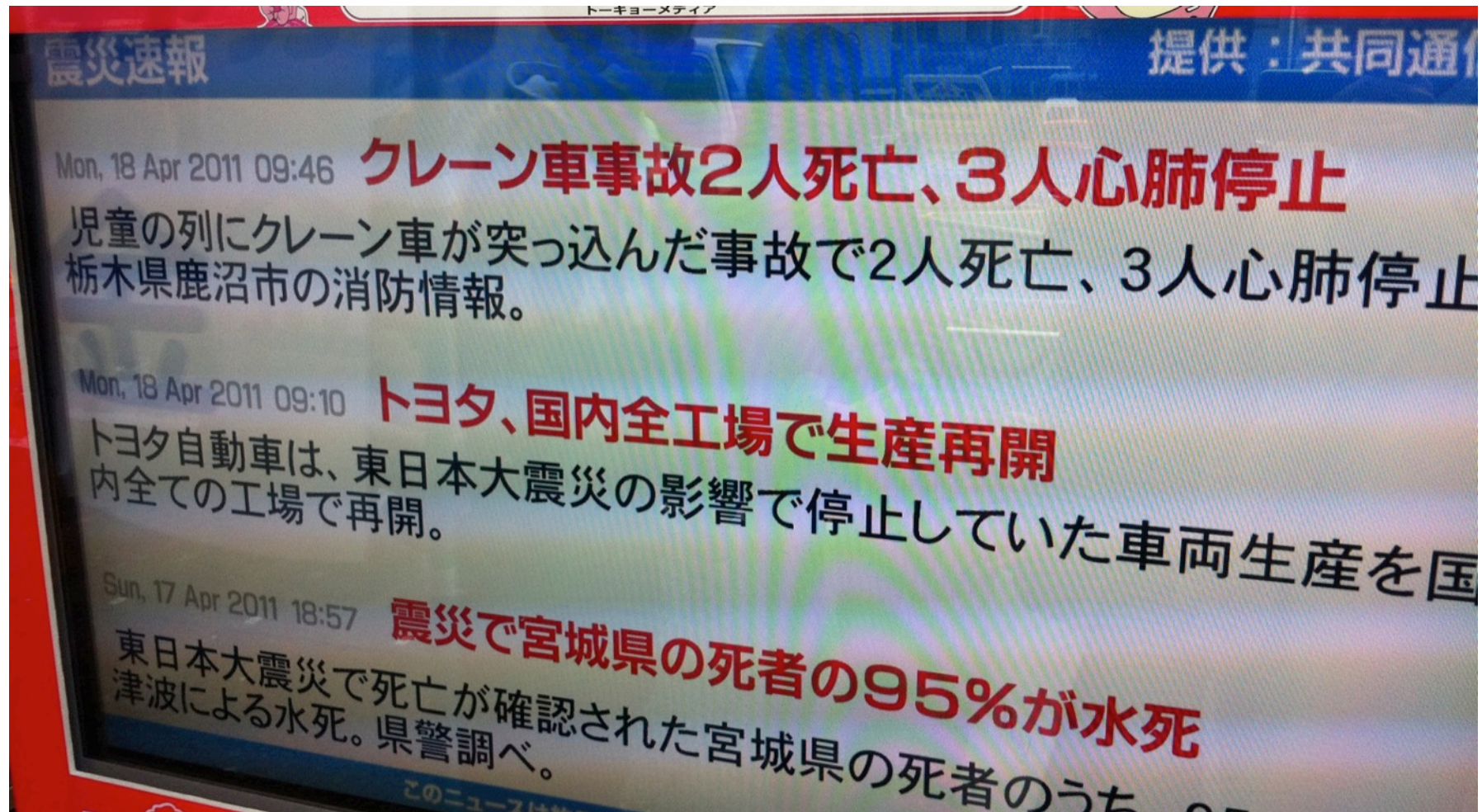
# 事例：Twitterによる災害情報をflashでリアルタイム表示 (富士フイルムイメージテック様)





# 事例：東京メディア & 共同通信ニュース

※写真は4月下旬のもの





# 事例：放射線飛散量/電力消費量情報 (ニューフォリア様) 1/2

## 環境放射能水準調査結果(上水(蛇口))

22日13時発表

21日摂取分	放射性ヨウ素(I-131)	放射性セシウム(Cs-137)
茨 城	18 ベクレル	18 ベクレル
栃 木	6.0 ベクレル	6.0 ベクレル
群 馬	0.72 ベクレル	0.72 ベクレル
埼 玉	3.4 ベクレル	不検出

単位はベクレル(Bq / Kg)

### 飲食物の摂取制限に関する指標

#### 放射性ヨウ素

300ベクレル  
(乳幼児:100ベクレル)

#### 放射性セシウム

200ベクレル

※本データは、1Bq/Lを1Bq/kgとみなす  
※文部科学省が各都道府県等からの報告に基づき作成  
※「原子力事故等の防災対策について(原子力安全委員会)」飲食物の摂取制限に関する指標に基づく飲料水の基準 放射性ヨウ素-131:300Bq / Kg以上、放射性セシウム-137:200Bq / Kg以上

## 環境放射能水準調査結果(大気)

22日13時発表

22日	6時～7時	7時～8時	8時～9時
茨 城	0.351	0.351	0.394
栃 木	0.141	0.141	0.144
群 馬	0.112	0.112	0.112
埼 玉	0.112	0.116	0.113

単位はマイクロシーベルト(μSv/h)

### 日常生活と放射線

6900	CTスキャン検診1回
600	胃のX線検診1回
200	飛行機旅行 (東京-ニューヨーク往復)
50	胸部X線検診1回

※本データは、1μGy/h(マイクログレイ毎時) = 1μSv/h(マイクロシーベルト毎時)と換算して算出  
※文部科学省が各都道府県等からの報告に基づき作成

# 事例：放射線飛散量/電力消費量情報

(ニューフォリア様) 2/2

## 東京電力の電力使用状況

09日16時更新

09日15時現在の電力使用状況

現在の電力使用量 **3293** 万KW

本日のピーク時供給力 **4000** 万KW

=

使用率

**82%**



※使用量は東京電力発表の使用状況グラフをもとに類推した値です。管轄区域の方は節電および計画停電にご協力ください。

※グラフは過去1時間の電力使用状況の平均値を表示しています。

# 事例：ストック情報コンテンツ一式

(メディアコンテンツファクトリー様：抜粋)

## NHK安否情報放送

(テレビ、ラジオ使える方限定)

NHKでは安否情報に関する放送をします。

次の電話番号にご家族の状況やメッセージをお寄せください。

**/03-5452-8800 /050-3369-9680**

**/050-3369-9660**

ラジオ第2では外国人向けの災害情報として、総合テレビで放送中の英語、韓国語、中国語、ポルトガル語の副音声を津波警報が解除されるまで放送します。



**緊急地震速報に係る悪質商法や  
不審な人物などにご注意ください**

**募金などの詐欺にご注意ください**

災害に乗じて、募金と称した詐欺が  
出現することがあります。  
募金の際は十分ご注意ください。

## 献血にご協力ください

日本赤十字社では、東北地方太平洋沖地震で被災された方の尊い生命を救うため、16歳から69歳までの健康な方に献血のご協力をお願いしています。

日本赤十字社Webサイト  
<http://www.jrc.or.jp/>



## 節電にご協力ください

- ☐ 日中はもちろん、夜も必要以上の電気は点けない。
- ☐ 服を厚めに着る、カーテンを閉めるなどの工夫をして、暖房器具は使わない。
- ☐ 待機電力を抑える為、使わない電化製品のコンセントを抜く。
- ☐ 洗濯や料理はピークタイム(18時～19時)を避け、早めに行う。

BRIDをご使用いただいているお客様へ

## 東北地方太平洋沖地震 デジタルサイネージBRID用『生活支援情報』コンテンツ の無償提供について

この度の東北地方太平洋沖地震に被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。

わたしたちは全国に3,500台以上設置されている“BRID”を社会にお役立ていただく機会と捉え、生活支援情報コンテンツを提供させていただきます。微力ではありますが、被災者ならびにそのご家族・ご親族のお役に立てていただけることを願っております。

一つでも多くの命が救われることを心よりお祈り申し上げます。

ダウンロードはこちら <http://www.towa-neocos.co.jp/selhin/download/index.html>

※コンテンツはJPGファイルです。

表示時間の調整やLED部のメッセージ入力などはBRID本体でご対応いただく必要があります。

ご不明な点は、お買い求めの販売会社にお問い合わせください。



### ■表示内容（一部抜粋）

#### 災害時の避難所について

都道府県避難施設一覧については、  
内閣府 国民保護ポータルサイトにて  
ご確認ください。

内閣府 国民保護ポータルサイト  
<http://www.kokuminhogo.go.jp/hinan/>

#### チェーンメールにご注意下さい！

東北地方太平洋沖地震に際して、チェーンメール、  
電子掲示板、ミニブログなどで、**速く情報が発信されています。**

チェーンメールを転送することは、いまだに不明瞭な点が多く、誤った情報も含まれています。  
チェーンメールを転送する場合は、必ずその旨を明記して転送をお願いします。

転送が繰り返されると、送信元が不明になり、迷惑メールとみなされることがあります。  
このためチェーンメールの転送はご遠慮ください。

#### SOS時の緊急連絡先

警察は **110番**  
救急車・消防隊は **119番**  
海での災害の際は **118番**  
(海上保安庁)



#### 災害用伝言ダイヤル使い方

(伝言ダイヤルは24時間受付)

- | ●被災者の方           | ●災害を確認したい方       |
|------------------|------------------|
| 1.伝言ダイヤルに111を押す。 | 1.伝言ダイヤルに111を押す。 |
| 2.「1」を押す。        | 2.「1」を押す。        |
| 3.自分の電話番号を入力する。  | 3.自分の電話番号を入力する。  |
| 4.伝言メッセージを入力する。  | 4.伝言メッセージを入力する。  |

※伝言ダイヤルは被災地の被災者や被災地の関係者専用です。ご了承ください。  
伝言ダイヤルは被災地の関係者専用です。

# 只今、生活支援情報放映中

### ■LED告知（ランニング）

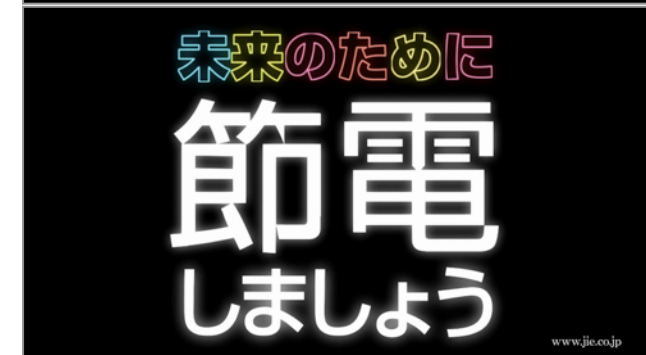
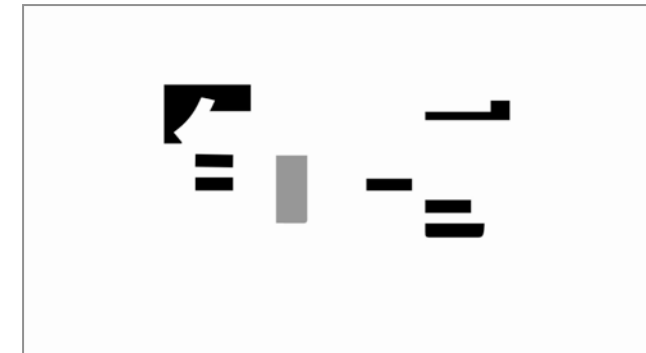
リモコンで空きCHに入力してください。

※本コンテンツは株式会社メディアコンテンツファクトリー様よりご提供いただいております。  
※本コンテンツを使用する場合は、全て使用する本人の責任においてのものとします。



# 事例：小売店向け災害支援コンテンツ

（日本情報流通株式会社） 1/2



# 事例：お見舞い・お悔やみコンテンツ

（日本情報流通株式会社） 2/2

このたびの一連の地震災害により  
被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

株式会社△△△△ 代表取締役 山田 太郎

# 最近の事例：東京メトロ改札脇サイネージ

18 13

News

東京外為市場、午後5時現在1ドル=81円58~61銭。前日比19銭の円高

04/28 17:14

Weather

東京都 東京地方の天気

4月28日(木) 4月29日(金)

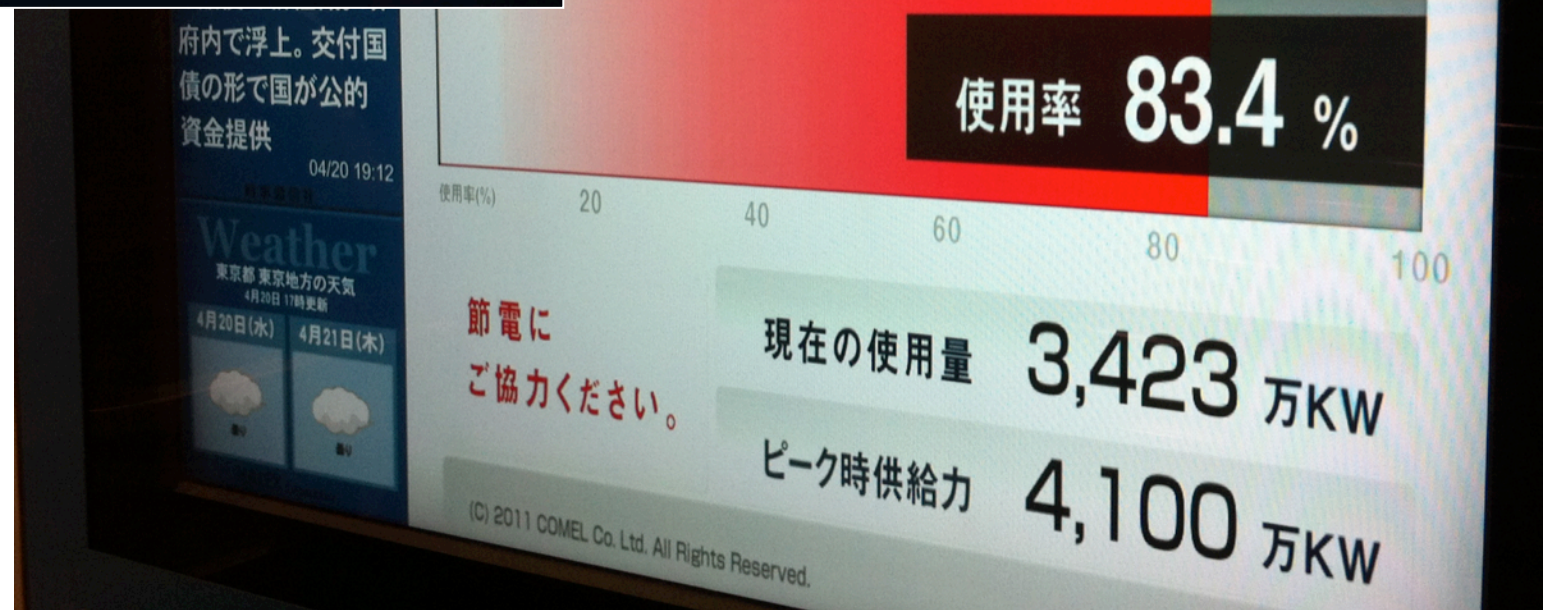
節電中

SAVING ELECTRICITY

列車内 駅構内

東京メトロでは、節電のため駅構内照明、車内照明を一部消灯しております。また駅エスカレーター、車内冷暖房の使用を極力控えさせて頂いております。

お客様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。





# 最近の事例:JR東日本 柱巻きサイネージ





# ソフトバンクによる被災地へのデジタル フォトフレーム配布事例

みんなで  
がんばろう  
日本 ●

## 避難者支援プラットフォーム準備室

### フォトフレームを使った 電子回覧板の導入支援を開始

この度、「みんなでがんばろう日本」プロジェクトの一環として、ソフトバンクモバイル株式会社より、デジタルフォトフレーム「PhotoVision」を使った自治体から被災者への情報発信ツールが無償で提供され、避難者支援プラットフォーム準備室が導入支援を開始しました。

この電子回覧板は、早速、福島県浪江町や双葉町に採用され、2011年5月7日より町民の方が避難されている各二次避難所への設置が進められており、浪江町や双葉町より町民のみならず、支援情報などの情報がこの端末へ定期的に配信される予定です。

浪江町につきましては、ホームページに電子回覧板に関するお知らせが掲載されております。

<http://www.town.namie.fukushima.jp/?p=2009>

なお、避難者支援プラットフォーム準備室では、福島県のほかの市町村の二次避難所へも導入を進めてまいります。



浪江町臨時役場ホームページ

検索

お知らせ

申請書ダウンロード

浪江町長室

メール配信

[トップページ](#) > [新着情報](#) > 電子回覧板の設置について

### 電子回覧板の設置について

被災された方と支援したい方の心と心をつなぎ、この国難を日本の全員で乗り越えるためのプロジェクト「みんなでがんばろう日本」を支援するソフトバンクモバイルから、電子回覧板を無償で提供いただきました。

二次避難所への情報発信のツールといたしまして、5月7日より、順次各二次避難所に設置しております。なお、設置準備中の避難所には、一時設置を見送っておりますのでご了承ください。



# Life tweet project



宮城県多賀城市へ4月24日に導入

